



感染リスク対策支援システムのご提案

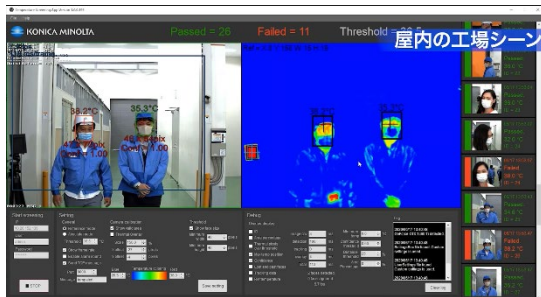
パナソニックi-PROセンシングソリューションズ株式会社

昨今、感染症が急拡大してきており、病院や介護施設をはじめ、さまざまな施設館内での感染も増加しています。施設においては、感染症の外部からの持ち込みを防止することが必要不可欠となっています。

ご提案

感染リスク拡大の防止対策を支援する映像監視システムをご提案

① パソコンソフトTSA (Temperature Screening App) によるライブ監視で、見逃しを防止



管理ソフト画面



サムネイルが残るため、
事後・後追い確認が可能

通過日時と顔サムネイルを記録

② 広い計測範囲で、計測がスムーズ

ご提案するカメラ

計測距離：最大5m



計測可能幅：2.3m

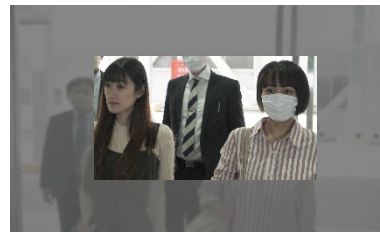
計測距離が長く、計測幅が広い

- ✓ カメラに近づく必要なし レイアウト設計し易い
- ✓ 混雑がでにくい 感染リスクを軽減
- ✓ 幅が広い通路でも、対応しやすい 計測漏れが少ない

1台でスムーズに計測。
カメラの前での混雑も
軽減します。

他社品イメージ

計測距離：最大3m



計測可能幅：1.3m

③柔軟なシステム拡張性で、機能強化が可能

使い易い基本パッケージ



AIマスク非着用検知と組み合わせて、
感染リスク拡大の防止強化

2021年3月
AI混雑検知アプリの発売も
予定しています。

アラームと映像を **録画**



防犯システムと併用設置



i-PROネットワークカメラ



サイネージ利用で、**注意喚起**

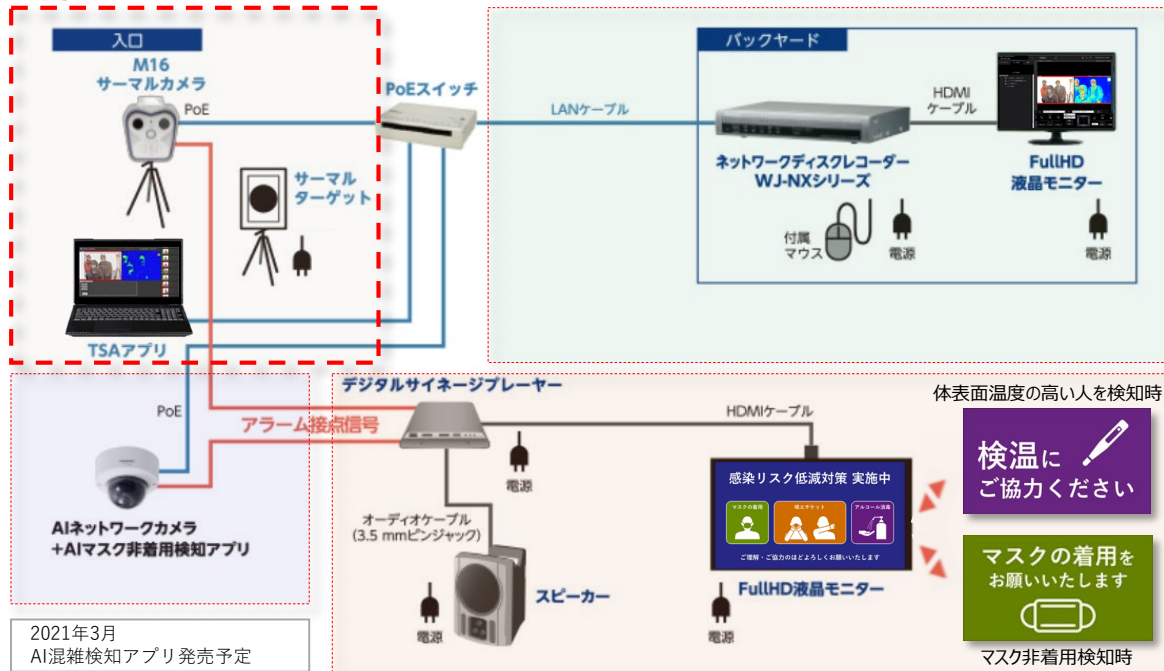


(体表面温度の高い人を検知時)

(マスク非着用検知時)

【基本構成】
サーマルスクリーニングパッケージ式
(体表温度測定・監視)

ネットワークディスクレコーダー
WJ-NXシリーズ
(映像記録)



【ご注意ください】サーマルカメラとTSAアプリは当システムにおいて「1対1」となります。

サイネージ連携による注意喚起と、アラーム録画

体表面温度の高い人やマスク非着用を検知したときに、注意喚起を促し、アラーム時の映像を録画、事後確認します。



サーマルスクリーニングによる注意喚起

マスク非着用検知による注意喚起



アラーム時の映像を記録、履歴表示

防犯システムと併せて管理

サーマルカメラの映像やマスク非着用検知の映像と、防犯カメラの映像を同一レコーダーにて録画し、施設内全体を監視します。



PRO サーマルスクリーニングパッケージの内容一覧と品番説明

■ パッケージ一覧

区分	主な機器構成
基本 パッケージ	M16サーマルカメラ
	サーマルターゲット（温度基準器）
	GPU搭載パソコン（アプリインストール済）
	通信型周囲温度測定器、三脚、専用ケース
システム パッケージ	AIネットワークカメラ WV-X2232LJ
	AIマスク非着用検知アプリ WV-XAE203W
	ネットワークレコーダー WV-NX100/1
	接点出力器、モニター、サイネージ

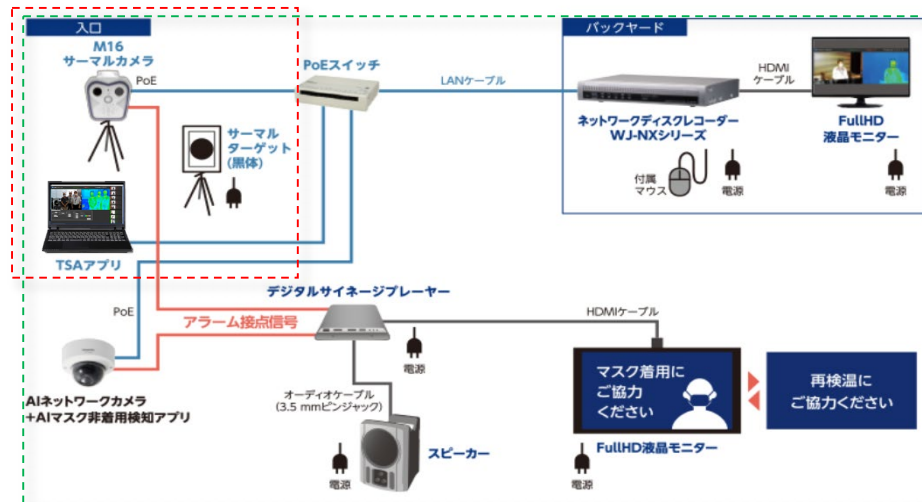
* 上記機器以外に、カメラへのPoE給電およびパソコンやネットワークレコーダーのNW接続のため、PoEスイッチが必要になります。

（ネットワークレコーダー WJ-NX100シリーズは PoEハブ内蔵のため、PoEスイッチは不要です。）



基本パッケージイメージ

基本パッケージ



システムパッケージ

■ 他社比較とメリット

項目	メリット	M16サーマルカメラ	H社サーマルカメラ
カメラ動作温度範囲	温度範囲が広く、年中利用可能です。	-30 ～ +60℃	+10 ～ +35℃
計測温度範囲	サーマルスクリーニングの利用が終われば、 設備機器などの異常熱検知 としてご利用いただけます。詳しくは以下ご参照ください。 https://businesssolution.konicaminolta.jp/business/products/mobotix/lineup/thermographic-cameras/index.html	+23℃ ～ +50℃（サーマルスクリーニング利用時） -40 ～ +550℃（異常熱検知利用時）	+30 ～ +45℃
設置方式	壁掛けやポール設置が可能なため、設置場所に困ることがありません。	三脚、壁掛け、ポール設置、天井設置	三脚、天井設置
アラーム出力	パソコン側でもブザー鳴動可能なため、離れたところで監視することが可能です。	1チャンネルのリレー出力、オーディオアラーム パソコン側のブザー出力	1チャンネルのリレー出力、オーディオアラーム
サムネイル表示	顔と測定温度がリスト表示されますので、 複数人がウォークスルーで通過したときの見逃しを抑制 します。	あり	なし
同時検温人数	複数人を同時にスクリーニング可能です。	20人	20人
測定距離	検知距離が長いので、 計測時の混雑を避ける ことができます。 オプションで、測定距離4～8mのレンズに交換することが可能です。	2 ～ 5m 1 ～ 3m	1 ～ 3m
システム拡張性	1台のi-PRO製ネットワークディスクレコーダーに、体表面温度の高い人の検知時のアラーム映像と、マスク非着用検知用ネットワークカメラの映像を録画することが可能です。	i-PRO製品と連携	なし
起動後安定動作	周囲温度測定器を標準装備しているため、起動後すぐに安定動作し、周囲温度の変化にもフレキシブルに対応します。	起動後、すぐ安定 周囲温度の変化に強い	起動60分後に安定 周囲温度変化に弱い
初期キッティング	ソフトウェアのインストール、初期設定を全て工場で実施して出荷します。	工場キッティング	販売パートナーにて実施

■ 詳細スペック

項目		スペック
サーマル画素数		336(H)×252(V)
カメラ動作温度範囲		-30℃～+60℃
TSAでの計測範囲		+23℃～+50℃（サーマルスクリーニング利用時）
測定温度誤差		±0.5℃ ※周囲環境温度や測定距離により多少誤差が生じます。より正確な測定結果を求める場合は、別途接触式体温計で計測し、正確な体温測定を実施する必要があります。
サーマルFOV	HFOV	25°（Optionで45°、17°選択可）
	VFOV	19°（Optionで32°、13°選択可）
フレームレート		9fps
可視画素数		3,072(H)×2,048(V) ※TSA表示時はVGA
可視FOV	HFOV	31°（Optionで他画角選択可）
	VFOV	23°（Optionで他画角選択可）
映像出力信号		Ethernet
警報装置		内蔵スピーカーによる音声通知。 拡張Boxによる接点出力も可能（別売）
画像記録		SDカード（内蔵）やNAS、NVR等（別売）へのカメラ画像記録可能
電源		PoE
基本セット		カメラ(可視+サーマルの二眼)、PoEユニット、温度基準器、三脚×2、パソコン

項目		スペック
検温方式	顔検出	搭載（顔以外の熱源による誤報が少ない）
	検出時間	リアルタイム（完全ウォークスルー）
温度キャリブレーション		設定不要
同時検温人数		最大20名
使用環境		直射日光が当たらない、屋内のみ
測定距離		MXTP25ST、MXTP25STEX ：カメラから、2m～5mの範囲 MXTP45ST、MXTP45STEX ：カメラから、1m～3mの範囲
サムネイル表示		50件 通行者の顔・推定体温・時刻を記録します。
外部連携		Onvifアラーム通知、接点出力

■機能スペック

機能	スペック
検知時間	2秒以上
設置環境照度	80lux以上（顔付近の垂直方向）
顔向き	左右45度、上下30度以内
マスク柄	カラー/柄（幾何学）マスク、各種マスク形状に対応 
同時検出人数	8人

■ 感染リスク対策支援システム

https://sol.panasonic.biz/security/partners/km_thermal.html

■ AIマスク非着用検知アプリケーション

https://sol.panasonic.biz/security/camera/ipro_extreme/ai/wv-xae203w/

■ サーマルカメラ

<https://businesssolution.konicaminolta.jp/business/products/mobotix/solutions/flyer/feverscreening/index.html>

■感染リスク対策支援システムに関するお問い合わせ

パナソニック システムお客様ご相談センター

TEL: **0120-878-410** (受付時間 平日9:00～17:30 ※土・日・祝日は受付のみ)

メールでのお問い合わせは、以下サイトからアクセスください。

https://sol.panasonic.biz/security/partners/km_thermal.html

PRO

当システムの検温は、**体温計測ではなく「スクリーニング」**です。

- ・サーマルカメラ（赤外線サーモグラフィ）は、**物体の表面温度分布を表示する装置であり、被写体がウイルスに感染しているかどうか判断する機器ではありません。**
- ・測定は表面温度分布で**肌の表面温度**です。体温計で測定の「**体温**」とは値が異なります。
- ・サーマルカメラでの計測はあくまで「**1次スクリーニング**」です。
正確な体温計測には別途、「**接触式体温計**」をご利用ください。
- ・**着衣部の表面温度は測定できません**ので、測定エリアでは、外部から肌が見えるようにして下さい。一般的に一番温度が高いのは「**おでこ**」です。測定時は**帽子を脱いで頂く事が望ましい**です。
- ・被写体の肌の表面温度は計測前後の環境条件、被写体の状態により変動します。

スクリーニングで安定した測定結果を得るため、測定エリアは、**直射日光のない屋内で、空気の流れや温度の変化が小さい場所**に配置することが望ましいです。

下記条件下では正確な測定ができない可能性があります。

- 屋外および直射日光の当たる場所 （直射日光で髪が熱くなる。例：50℃超）
- 背景に高温になる箇所がある
測定エリア後方の壁など、カメラの画角内にある背景の温度が、人体の表面温度よりも高くなる状態。
例：カメラの画角内に照明や稼働中のモニターなど発熱する物体がある
例：自動ドアが開くと屋外が映像内に映る
- 気温変化が大きい場所
 - ・カメラの画角内に、エアコンの吹き出し口など空気の流れを生み出す機器がある
 - ・屋外に通じる扉や窓などが近くにある
- 映像内に人の画像がある
ポスターやモニターに人の画像が表示されている場合、人として誤検知する可能性があります。
- その他
ガラスの向こうは測定できません。

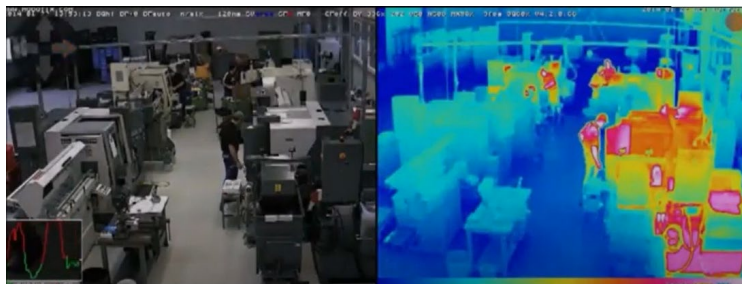
■ 収束後のサーマルカメラ活用事例



異常熱検知利用時の
計測温度範囲

-40 ~ +550℃

✓ 設備の異常熱検知



✓ 煙の中の異常熱検知



✓ タバコ検知

